

Rowing Power Boat & Rowing Boat

これからのローイングボートはトランサム付き。ジョイクラフトの提案です

これからのローイングボートは、エンジンが付けられるローイングパワーボートが主流となります。

小さなトランサムボードが備わることで、エンジンだけでなく、色々なモノを取り付け可能なので、便利に快適に船上空間を満喫できます。

エンジンと一緒にランチングホイールも一緒に取り付けられる幅のトランサムボードを備えたモデルもラインナップされているので、お好みで選べます。



ジョイクラフトのローイングボートは他社を圧倒する高機能が満載！ 7つの違い

1 これからのローイングボートは マイクロトランサム付き

マジックマグ、FEM、TWMは、小さなトランサムボードがボート本体にしっかり固定されています。エンジンだけでなく、魚探センサーや竿受けなども取り付けられます。



2馬力エンジン
装着例

2 充実した装備品



3 高性能フロアシステム

①ジョイクラフトの主力、高圧エアフロア

板底に比べてはるかに軽量で、継ぎ目がなくぐにやぐに曲がらずに、快適な乗り心地とハイスピード走航を実現します。万一チューブの1気室の空気が抜けても、エアフロアの浮力で高い安全性が確保できます。

②ジョイクラフトの板底

頑丈な7ミリ合板を用いた4枚全面板底。ジョイント部は全幅接続され、左右のねじれが生じず快適です。



4 直進性を高める 3ポイントキール

センターエアキールと高さ7cm、長さ35cmのダイナキール2個付き。左右にぶれずにまっすぐ走るため、目的地までロスなくたどり着けます。また、直接地面に置いてもダイナキールが底布を守ります。オプションのダイナキールホイールを装着すれば陸上での運搬も楽々行えます。

3ポイントキール



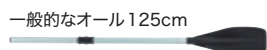
ダイナキール



ダイナキールホイール

5 ロング&ワイドブレードのオール

長いオールは漕ぎやすく、幅の広いブレードは一度にたくさんの水をかけるので、1ストロークで進む距離が違います。また次のストロークに移ったときには行き足がしっかりと付いているのでより速く、楽に漕ぐことができます。



一般的なオール 125cm



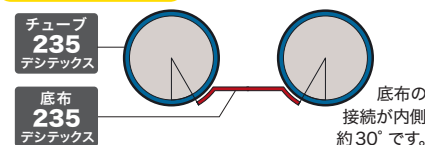
6 2重張りでボートカバーいらず

チューブと底布の張り合わせ部分が広いことが特長。2重張りで強化した船体は、タフな環境下でもボートカバーを必要としません。

ジョイクラフトのボート：2重張りの2パターン



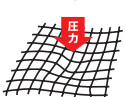
大多数のボート



7 強靱基布のタフネス構造

ジョイクラフトボートのチューブは550デシテックス (TWは1,100デシテックス)。底布は全シリーズ1,100デシテックス。チューブ、底布とも235デシテックスという大多数のボートに比べ、はるかに強靱です。特にMMGシリーズは550デシテックス「40×40本」と織り密度が高く、圧倒的な強度と柔軟性を誇ります。

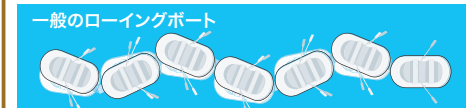
密度の低い一般的なボート基布23×23



ローボートチューブの基布



ジョイクラフトは550デシテックス (TWは1,100デシテックス)。一般の大多数は235デシテックス。



ダイナキールを装備した
ジョイクラフトのローイングボート

